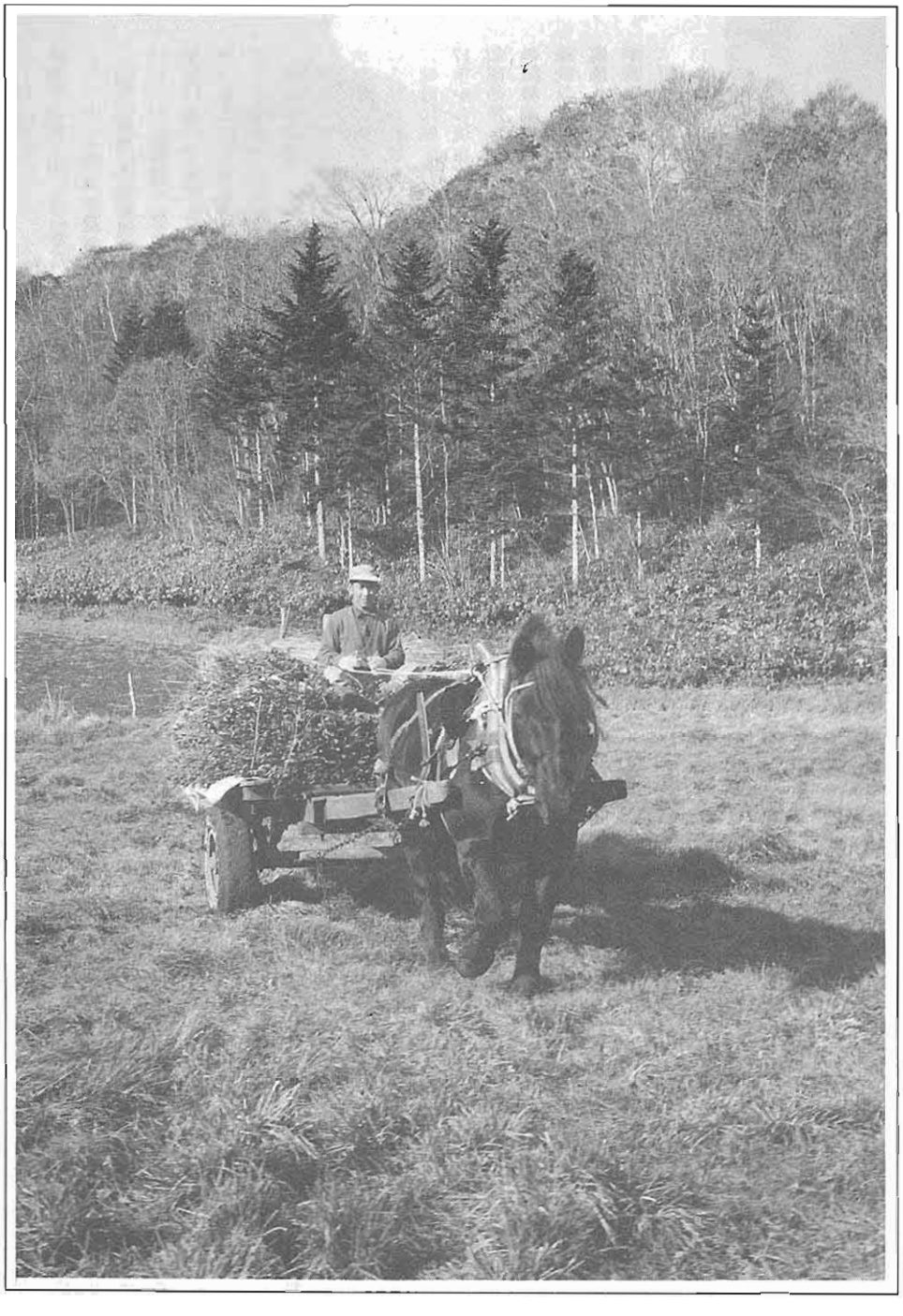
広報 いまかね

昭和58年12月号 No. 300



（馬で大豆の収穫をする花石の村瀬さん）

『秋の叙勲』2人が受章

永年の貢献に光



渡辺猶市さん

勲六等瑞宝章

統計調査功労（各種統計調査員）

渡辺猶市さん（84歳）農業　住吉

「秋の叙勲」の受章者として11月16日に行政管理庁にて伝達を受け、皇居拝謁の予定でありましたが、残念なことに身体の不調から上京できませんでした。

諸戦の功績は次のとおりです。

明治32年に岐阜県に生まれ、明治37年に両親とともに来道、住吉に入植され現在に至っております。

統計に関する主なものは、昭和17年から現在に至るまでの40年間52回の長きにわたり、総理府所管の国勢調査や農林省所管の農林水産統計調査に従事された他、毎年実施している北海道実施の農業基本調査等であります。

更には、公職経費として、昭和13年から49年までの長きにわたり住吉部落の長として地域に貢献された他、昭和21年から28年には、今金町民生委員を務められ、昭和23年から29年にかけ、今金町農業協同組合理事として、昭和32年から49年にかけ住吉納税組合長を就任、昭和49年から57年には今金町結婚相談所相談員と貢献された功績は多大なるものがあります。

以上の功績が讃えられ、昭和25年森林火災予防功労者として函館営林局長より表彰、昭和26年民生委員従事功労により北海道知事から感謝状、昭和42年今金町開拓功労者として今金町長から表彰、昭和52年納税貯蓄組合功労者として今金町長から表彰、昭和52年地方自治功労者として今金町長から表彰等、農業振興や地方自治、社会福祉など多種多彩にわたり貢献せられたことに対し表彰され、今回これ等のことから叙勲受章の対象となったものです。

消防功労

勲七等青色桐葉章

早坂悦次郎さん（65歳）農業　稲穂

「秋の叙勲」の受章者として11月30日に北海道知事から伝達を受けることになりました。本来であれば上京受賞となりますが、秋の収穫期に入り多忙なことから北海道知事から伝達されることになったものです。諸般の功績は次のとおりです。



早坂悦次郎さん

父は山形県人であり今金町に入植、大正7年に稲穂に生まれて以来農業に従事し現在に至っております。

その間、昭和19年から20年にかけて青年学校の実施指導員として活躍され、終戦になってから引続き消防団に入団、以来昭和55年に至るまでの長きにわたり消防業務に従事、地域社会に貢献されてきました。また、昭和28年から昭和50年の間の13年間に、稲穂部落会長に就任され、地域発展に貢献されてきました。

火災活動については、自分の危険もかえりみず、工場火災や住宅火災、山林火災等の消火活動に活躍された他、豪雪に伴う猛吹雪の時に汽動車が立往生したときの救出活動に尽力されてこられました。

更には、山菜採りに入山された四人が行方不明となり、この捜索活動を開始、指揮者としての貢績は賞讃されるものがありました。

また、消防施設の整備充実を図るため、消防ポンプ車の購入、消防車格納庫の建設等に努力された貢績は大であります。

団員の育成についても、教育訓練などは経験を生かした本番さながらの模擬火災訓練の実施をするなど、多大なることが認められ、今回この受章となったものです。

北海道社会貢献賞（統計功労30年級）受賞



木島藤五さん

木島藤五さん（74歳）農業　神丘

昭和27年に北海道農業基本調査をはじめとして、国勢調査など現在に至るまでの32年間の長きにわたり統計調査に従事、貢献されてきました。

また、大正10年から昭和17年にかけて利別消防組合員として活躍、昭和35年から38年にかけて今金町農業共済組合監事、昭和35年から42年には、御影遠路愛護組合長等に就任、地域の振興に寄与されてきました。



長谷川金二さん

長谷川　金二さん（81歳）農業　御影

昭和28年に北海道農業基本調査をはじめとして、国勢調査など現在に至るまでの31年間の長きにわたり統計調査に従事、貢献されてきました。

また、昭和37年から56年にかけて今金土地改良区総代、昭和45年から48年には、金原富前農事実行組合長、昭和48年から50年には、金原富前部落会副会長等と、地域振興に寄与されてきました。



松本栄さん

松本　栄さん（76歳）農業　八東

昭和28年に北海道農業基本調査をはじめとして、国勢調査など現在に至るまでの31年間の長きにわたり統計調査に従事、貢献されてきました。

また、昭和30年から38年にかけて八東部落会長、昭和36年から52年にかけて八東衛生組合長等に就きました。



須田市太郎さん

須田　市太郎　さん（63歳）農業　金原

昭和27年に北海道農業基本調査をはじめとして、国勢調査など現在に至るまでの32年間の長きにわたり統計調査に従事、貢献されてきました。

また、地域においても昭和14年から20年にかけて神丘新興部落会長に就任、更には、昭和32年から現在に至るまで神丘新興納税組合長など地方自治にも貢献されてきました。

交通安全ポスターコンクール

全道最優秀賞に輝く



受賞に喜ぶ（向佐々木さん、前白岩さん）

昭和58年度農協共済全道小中学生、交通安全ポスター募集に応募した今金中学校は、全道応募者数8,023人、223校でした。

そのうち9点が選出されるものです。9点の中に、佐々木春美さん（今中一年生）と白岩江理子さん（今中二年生）が最優秀賞（今中二年生）が最優秀賞に選出された他、川股久美子さん（今中一年生）が銀賞を受賞されました。

この表彰が10月31日に西里今金中学校長から伝達されました。

最優秀賞、特別賞として北海道知事賞を受賞された佐々木さんの作品内容は、「シートベルトをして、安全運転」を標語にして、絵のバックを灰色に、青、赤、白色の車を配置したものです。

試作は、夏休み中の宿題としてはじめられ、本格的には絵画の時間、放課後とがんばり、やっと出来た作品だそうです。

宿題となっていたのでだいぶ考えましたと話しておりました。また佐々木さんは、中里小学校六年生の時にも「林野火災予防ポスター」で推薦賞を受賞しております。

同じく最優秀賞に選ばれました白岩さんの作品内容は、「子供はすぐとびだす、前方注意」を標語にして、絵のバックを灰色に、画面の中央に塀を書き一方から車が走っており、塀の中にシルエットで子供を配置、人物を黒く、そのバックを黄色にしたものです。

2年生のポスター授業時間につくったもので、週2時間で6週間はかかったと話しておりました。

また白岩さんは、神丘小学校二年生の時に「交通安全ポスター」でも入選しております。

絵画担当の外崎先生は、一～三年生の共通宿題としたもので、ポスター指導によるものです。テーマを「山火事予防、電波障害、交通安全」などであり、指導してきたものですと話しておりました。

西里今金中学校長は、この後、全国選抜が11月にありますがどうなることか心配です。

でも、全道に選ばれただけでも栄誉なことです。また、少しでも交通安全の意識が高まることができればと、これ等のことを10月31日の朝礼の時に皆んなに話したところであり、来年もがんばってほしい。

現在の小中生徒の非行の問題が呼ばれているときに、誠に喜ばしいことです、と話しておりました。

『話題募集』

いま話題になっていることがありましたら、お知らせください。

（広報係）

第14回今金町総合文化祭

多彩楽しく

ダンスで開幕　フィーバー



社交ダンスクラブ　初参加華やかに

今金町文化協会の主催により十一月二日夜、町民センターにおいて「ダンスパーティー」が前夜祭として実施、幕あけとなりました。

華やかなリズムにのって48名が参加、親睦が図られました。

三日には、「小さなピアノ発表会」が町民センターにおいて開催、幼児から高校生までの42名による演奏がおこなわれ、お母さんや知人応援団の参観者200名余りがかけつけ、小さな演奏家に拍手とカメラフラッシュの雨が降っておりました。

ピアノは、文化祭行事に参加するのは今年が初めてとか――。

前の年は別な形で実施しましたが、こんなに沢山みにきてくれなかった。このような形でできたことはとても良かったと関係代表者の南条さんは話しておりました。

「将棋」は朝から午後にかけて町民センター二階において開催、小中学生、一般と22名が参加、長時間にわたり熱戦がくりひろげられました。

更に、午後6.30分から9.30分にかけて、「琴・詩吟・コールマミー・音楽OB・民謡」の五団体により開幕、引続き琴の古典の調べにより開幕、引続きコールマミーのさわやかな歌声と詩吟と高校生空手有段者による演舞があるなど、音楽OBと民謡により一層華やかに芸能の部は幕となりました。

展示部門は、五、六日の二日間にわたり展示されました。

絵画は、12名32点が思い思いのモチーフを陳列、また、今年初めて絵をかいたという人もおりましたが作品内容は一段とレベルアップされ、人の目を楽しませておりました。

写真は、11名20点の白黒、カラーと陳列され、中には金賞と大きな作品があったり、組写真があったりでしばし足をとめる姿もありました。

書道は、47名54点と、行書、楷書、草書、かな、前衛書などさまざま、心おもちつく水墨の味がしみわたっておりました。

和紙人形は、13人60点余りの組作品などが展示、とても紙とは思えない色とりどりの人形が陳列され来場者の注目をあつめておりました。

俳句は19名により、短冊などが展示、毎年実施しているものですが「第14回今金町総合文化祭」を句にするなど会場を盛りたてておりました。

教職員グループ9名により、墨画、手芸、彫塑、彫刻、愛蔵品、イラスト、写真と多彩にとんでおりました。

役場職員グループ7名により、藤手芸、指人形、帆船、切手、切絵が出品されました。

菊花は、4名40点と日頃の労作が陳列され、文化の日にふさわしく会場に香りが漂よっておりました。

光の里学園では、85点の木工作品や陶芸作品、手芸品などの数々がギッシリと会場に花をそえておりました。

婦連協からは、50点余りの絵画や手芸品など、さすが女性集団であるだけに手のこんだ作品が陳列されておりました。

今青協からは、40点余りの紙芝居や写真などが展示。

梶さん（未広町在住）個人による彫刻（仏像）5体が初出品、材質は一位を使用しており、なかなかの労作、重みが感じられました。

電報電話局も参加、長距離電話の無料サービスや風俗と電話のうつり変りなどをイラストいりで説明があり、人の切れ間がなかったようです。

切手収集家による珍らしいものが何百点も陳列され、マニアにとってはたまらないものばかりでした。

華道は、池坊二団体、小原流、専正池坊の四団体52名が参加、色あざやかに花をそえておりました。

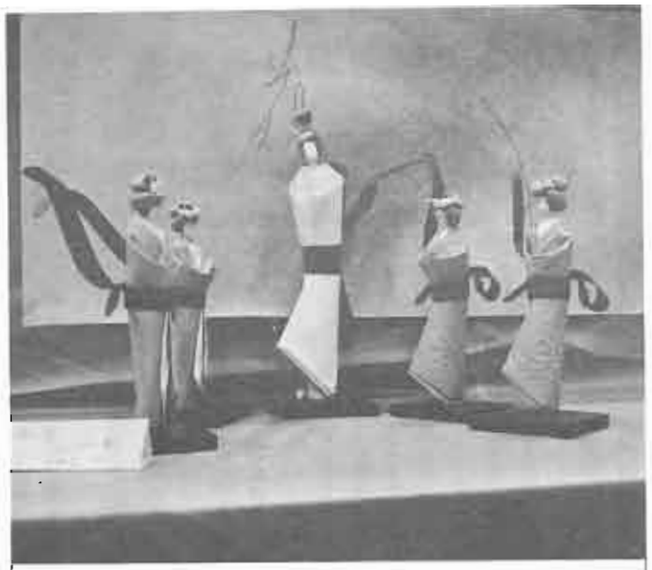
茶道は、表千家流六社中が一丸となって持て成し、300人余の人達がつめかけ、絶えまない盛況ぶりでした。

クッキングサークルによるバザーも人の波が殺到、用意した品々がとぶようになくなり、係は目が回るようないそがしさでした。

その他、**特別参加的**に、檜山北高等学校書道部の作品や藤手芸などの出品があるなど、ハムクラブの人達による無限への通信、囲碁、郷土が生んだプロカメラマン石橋寿子さんの写真展、美利河マンガン鉱山の歩みとして、採鉱用具や働いた人たちの話しなどが展示されるなど、年々、増々、盛況ぶりを示す文化祭行事は、来場者およそ千人を超えるものであります。

文化は、まちの発展のバロメーター的なものと、中井助役からあいさつがありましたが、心豊かな明るい町づくりに大きく功献されたと思います。

閉会式に、田中文化協会副会長からあいさつがあり、近隣町の文化祭行事を見学してきましたが、手前みそになるが今会は一番ではなかろうかと話しておりました。



情緒あふれる和紙人形



婦連協による手芸品



絵画クラブの力作



美利河鉱山使用物



水墨の味しみじみ



初参加仏像彫刻

美利河温泉遊歩道

秘境の地と連結



アナ並木の原生林を抜い、温泉地までの遊歩道工事が進められております。

総延長7.2kmの内、昨年度は3.0kmと今年度は2.5kmが完成いたしました。

残りの1.7kmについては、更に来年度に入り継続実施することとしております。

景観施設、宿泊施設については、いまのところ検討中ですが、冬の入浴は不可能ですが景色をながめながら温泉に行ってはいかがでしょうか……。

森林浴ができ、大気とのふれあいができます。

今金地震地殻変動観測所設置

地変、直送

この施設の一般公開が10月19日に現地字中里志文内橋近傍の建設場所において現認がありました。

現認に参加されました方々は、学校の先生や檜山北部の各町、消防関係者、他、開発、警察、電々の方でした。

施設は、鉄筋コンクリート造で岩盤を掘りぬきトンネル状になっております。

奥行き30mYの字形になり床に高感度地震計と地殻変動測定装置が取り付けられております。この観測データは、電話回線をもって札幌の北大地震センターに送られることになっております。

施設規模は、146㎡であり北海道大学の地震研究施設として建設されました。

現地説明後、講演があり、北大地震センターの本舘義信さんと元東大地震研究所員羽鳥徳太郎さんから「地震活動について」と津波についての講話がありました。

その持つ特質がはっきりしていないため、微少地震の観測をし、これまでの地震研究については、現在までの地震研究の対策を考えるものです。

日本の場合における機械観測は、明治14年頃函館で実施されたのが始まりとなっております。

地震が起きる時は、十勝沖地震のようなのであれば100㎞×200㎞以上におよぶ地ずれが起き、そのことによって発生するのが地震であり津波であると話されておりました。





このような施設は、南渡部、上ノ国、今金と三ヵ所となりますが今後更に、北海道各地に整備していきたいと話しておりました。

シリーズ③

地名の由来

（昭和8年8月10日字名改正）

今金（旧字名今金）

開拓の先駆者である今村藤次郎、重喜右部両氏の所有地であったことから命名と伝承され、それがそのまま現字名の「今金」と名づけられました。

御影（旧字名チプタウシナイ）

アイヌ語であり、「チプ、タウシ、ナイ」が転訛したもので「供を掘る沢」いつも……する沢、「木がある沢」の意味であります。

現字名は、御影石が沢山あることと、今金八景の絵に似通することから「御影」と名づけられました。

八束（旧字名オチャラッペ）

アイヌ語であり、「ペンケ、オイチャ、ヌンペ」が転訛したもので、「上の崎、勝の産卵のために遡る魚がある」の意味であります。

現字名は、開拓の先駆者であります鈴木義宗氏の郷の村名「千葉県安房郡八束村」の出身であることから「八束」と名づけられました。

白石（旧字名オチャラッペ）

アイヌ語であり、「八束と同様の意味であります。

現字名は、開拓の相であります白石第一氏の姓名をとり「白石」と名づけられました。

金原・鈴金（旧字名南金原）

開拓の先駆者である金原明善氏の所有地であったことから、そう呼ばれ、その姓そのまま「金原」と名づけられました。当時、北岡、西、金原と隣接されていたものであります。

鈴金については、金原開基氏と隣接地入であった鈴木源八郎氏の頭文字をとり、鈴金と名づけられました。

豊田（旧字名モウセウシ）

アイヌ語であり、「モセ・ウシ・イ」の転訛したもので「蕨麻の群生する所」の意味であります。

現字名は、開墾主であった西田元吉氏、豊雄入主田智三郎氏両氏の名と、より豊かにの願いをこめて「豊田」と名づけられました。

神丘（旧字名インマヌエル）

新約聖書からとったものでキリスト教徒の理想郷建設の目的をもって開拓され、この名がつけられたもので「神我と共に在す」の意味であります。

現字名は、右記のことから「神丘」と名づけられました。

金原地区農村基盤総合整備事業

農業…環境が整備



この事業は、56年から5ヵ年継続事業として着手されました。

56～57年度にかけて用水路L＝3,000mが、57年度には、第1号道路L＝900mの実測が、58年度には、第1号道路L＝900mが完成、第2号道路L＝125mの測量や第1号排水路L＝230mの用確測量が実施されました。

全体の事業計画は、第1号道路L＝900m㋐、第2号道路L＝135m㋑、用水路L＝1,100m㋒、排水路L＝607m㋓、集落道路L＝250m㋔、農村公園6,600㎡㋕、集落防災施設1式（40㎥1基一㋖などの計画が組まれております。

これらにより、地区が再編成され、新しく活力ある良い集落環境になりそうです。

金原第二地区頭首工災害復旧工事

あんぜん保給

昭和56年9月災、台風18号の集中豪雨により災害が生じたもので、工事は、2ヵ年継事業として着手され、今年5月に完成したものです。



工事概要は、提長11.30mせき上高1.25mとなり、受益戸数24戸、受益面積63.37haであります。

これにより、営農用水が完全に確保され、安心して営農ができそうです。

田代通り線街路築造工事

歩きやすく、安全

曙町入口から田代橋までの道路が両側に歩道つきで一部が舗装されました。延長291m幅15mであります。

残りは、59年度に入り、残舗装と街路樹植栽事業をもって完成される予定になっております。

これで中学生の交通安全が確保され、車による泥水もかけられず安心して通学できそうです。



昭和58年度糖尿病教室

快適な生活

やまいをコントロール



食生活を説明する保健所石井栄養士


健康体操を指導する町保健婦

この教室は、第1回目として6月17日と6月24日の2日間にわたり、また第2回目を11月11日と11月16日の2日間と2回にわたり実施されました。

延60人余りが参加され熱心に講習を受けられました。

教室内容は、正しい治療を続けて糖病を防ぎ健康な人と変らぬ日常生活ができるよう『食事療法、運動療法、インスリン療法、内服療法』などの説明がありました。

第一日目は、「糖尿病について」町保健婦から指導説明があり、糖尿病は胃の裏側にあるすい臓からだされるインスリンの働きが悪くなり、血液中糖質の量がふえ、尿に糖がでてくる病気です。

インスリンの働きが悪くなると体中で糖質がうまく利用できなくなってしまうことです。糖質は、人間が活動するための燃料として重要なもので、これの調節をするのがインスリンの役目です。

糖尿病の人はどうするかと言うとインスリンが不足になるのでこれを補ってやることによって、健康な人と同じような状態となり楽しい生活を送ることができます。

糖尿病は、親から受けついだなり易い体質を有しております。インスリンの働きが生れつき弱い人がいたり、生活環境の誘因、食べすぎや太りすぎによるインスリンの働きが不足して糖尿病になってしまう人もおります。

余病の併発として、糖尿性網膜症や神経症などのほか動脈硬化、脳卒中、心筋硬塞などになることがあると説明されておりました。

「食事療法について」今金保健所石井栄養士からは、調理実習やサンプルを提示して説明があり、体内でのインスリンを節約する食事をすること、基本として指示された一日当たりの総カロリーの範囲内にとどめ、バランスのとれた食事をすることが大切です。

保健の窓

食事の回数配分をきちんとして割りを便い量をきめ、食べた物を記録して調節することです。また、主食を多くとる習慣がありますので、これを調整し、野菜やパン、汁ものなどによる食事が満足感を得ることができます。

こんな方法をして見てはどうでしょうかと話しておりました。

更に、調理教室では、そぎ大根の煮しめ「里芋、大根、しらたき、ひき肉」や白身魚の和風ステーキ「白身魚、大根おろし、しそ葉」青葉ときのこの和風サラダ「春菊、しめじ、えのきだけ」をドレッシングしたものです。

参考として、食品フードモデルを展示、これで何カロリーありますと説明、受講者はこんなにあるものかとビックリしておりました。

また、どんな物を食べると良いかなどと質問があったり、熱心に受講されておりました。

「運動療法について」11月16日町保健婦により実施され、この体操をはじめて40日余りとなる主婦の方がおられ、「肥やせました、やせてとても身体が楽になったこと、現在、通院治療中ですが血糖地が150程あったものが100までさがったことです。

薬も減らしましたが変調もなく、とても調子がよく生活しておりますと話しておりました。

道銀新店舗オープン

図書券を寄贈


落成した道銀新店舗


明るい雰囲気の事務室

道銀として最新の店舗が建設され、10月24日オープンとなりました。金融機関の第2土曜日が休みとなることから、いつでも利用できる夜間金庫の新設、近代的な建造物で内部も明るく事務もとりやすそう。また、お客さんたちも気軽に出入りできる雰囲気です。

道銀では、これ等を記念して20万円の図書券を今金町に寄贈されました。

これは、祝賀会をやらず、この経費を何かの役にたてばと寄贈されたものです。

町ではこの購入にあたり検討いたしましたところ、百科辞典、専門書の購入をと考えましたが現有のものと重複しますので、誰れでもが見ることのできる一般図書と子供向けの科学図書を購入し、町民センター図書室にそなえつけすることになりました。

11月中に入る予定となっております。

新刊案内

町民センター 図書室だより

畑山　博＝泉のある家
伊藤　佳一＝静かなノモンハン
原田　康子＝風の砦（上下）
渡辺　淳一＝女優（上下）
吉川　英治＝全集9～47
斉藤　茂男＝妻たちの思秋期
越　　定男＝日の丸は紅い泪に
調松　和夫＝純粋な生活
吉岡　昭正＝死の愛容
津村　節子＝白百合の崖
津島誠一郎＝父への手紙
水上　勉＝帯廻の絆
黒沢　典之＝青函トンネル
新川　和江＝花嫁の青春
津島　佑子＝水府
市川　森一＝傷だらけの天使
W・Cフラナガン＝ちはやふる興の細道
吉田　優子＝千女草紙
佐藤貴美子＝仲間たちの夏
松本　清張＝蒼り画（上下）

社会福祉協議会だより

寄贈先	寄贈内容	住所	名又は団体名
光の里学園	￥500		匿名
〃	￥5,000	昭和町	大倉修太郎
小百合保育園	￥5,000	〃	〃
豊寿園	庭園草取り　9名2.30分	今金	今金青年会議所
〃	￥30,000	種川	今金高校生部
社協ボランティアセンター	￥100,000	種川	今金町立図書館
豊寿園	花球根　チューリップ　119個 ハフラン　30個	旭町	熊沢トシ子
光の里学園	珍味　2袋、せんべ　1函	大成町	友善幸次郎
〃	餅　2本	森町	阿部商店
〃	米ぬか　1袋	神丘	知花生花
〃	菓子　2函	鶉加倭町	藤谷一彦
〃	座蒲団　5袋	乙部町	金丸豊一
〃	菓子　1函	今金町	安藤善子
〃	こうじ　6kg	旭町	高山典子
〃	野菜他、花の種　425袋	八雲町	荒野製菓
〃	バスタオル　1袋	小金井市	日野まゆみ
〃	ベンチ　1台	今金町	佐藤商店
〃	毛糸ボンド　菓子　1函	北檜山町	加藤慶喜
〃	大理石　約2㎡	種川	北檜山町障害者センター
〃	菓子　1函	北檜山町	北檜山町教育委員会

こ1-4-4

■12月の休日当番医

4日	今金町富田医院	☎②0324
11日	今金町国保病院	☎②0221
18日	今金町岩間医院	☎②0057
25日	今金町国保病院	☎②0221

■1級、2級技能士訓練課程通信制講座受講生募集について

●受講資格――実務の経験があれば受講できます。（ただし1級は、1級技能検定受験資格者または1年後にその資格を得る方）

●受講期間――おおむね1年間（申込みは、いつでも受付けます。）

●受講料――1級 8,000円
2級 6,000円

●特典――受講した職種に対応する1、2級技能検定学科免除

お問い合わせは、受講案内申込書等のご入用の方は、級別、職別、職種等お書きの上60円切手同封の上、申込んでください。

〒041 函館市日吉町3丁目23番1号
函館総合高等職業訓練校 ☎52－0323

■国の進学ローンのご案内

ご利用いただける方……高校、大学等に進学されるための資金を必要とされる方。
ご融資額……1進学者あたり50万円以内
融資期間……高校3年以内、大学4年以内
利率……8.1%（利率は変ることがあります）
保証人……1名以上
返済方法……毎年元利均等返済
取り扱い期間……58年11月～59年4月（来春に進学される方）

－国民金融公庫函館支店－

■冬期間短期職業訓練のご案内

季節的に働く方を対象とした冬期間の短期職業訓練が次により行なわれます。

◎訓練期間……59.1.11～3.27まで
◎訓練科目……建築製図
◎定員……20名
◎受付時期……12月15日まで
◎場所……技能者会館
◎申込み先……詳細についてのお問い合わせは役場商工観光係まで ☎②－0111

■郵便局からのお知らせ

年賀状の受付は、12月15日から始まります。

お歳暮は郵便小包で……小包を一層のスピードアップとサービスをして受取人に届けております。

料金も58年9月1日から重量によって旧料金より60～80円安となっております。

－町内各郵便局－

ご協力ください

●昭和58年工業統計調査
●石油等消費構造統計調査

12月31日現在で実施

通商産業省では、右の二つの調査を十二月三十一日現在で行います。調査の対象となった事業所には、年末年始にかけて調査員が伺いますので、ご協力をお願いします。

住民の動態

10月末現在

	前月対比
人口	8,756（－14）
男	4,247（－1）
女	4,509（－13）
世帯数	2,597（－4）

☒おたんじょうおめでとう

木島 隆徳	9月26日	（正信 長男）	白石
佐藤 修一	10月6日	（淳一 長男）	高美町
内ヶ島佳明	10月10日	（祐一 長男）	種川
笠原 貴文	10月11日	（等 長男）	神丘
柳沢 伸次	10月19日	（高広 長男）	南栄町

☒いつまでもおしあわせに

遠見 秀一	（八幡町）	＝新家子朋子（北檜山町）
河村 晴雅	（八幡町）	＝山本 澄江（イマヌエル）
久保 秀隆	（八幡町）	＝松尾富美子（下稲穂）
浜塚 一夫	（大和町）	＝石神 明美（日進）

◆おくやみもうしあげます

滝坪石松	10月13日	80歳	八栗
町河きく	10月18日	65歳	トマケシ
加藤キヨ	10月19日	73歳	本町
佐々木サヨ	10月24日	86歳	種川

発行／北海道今金町役場 Tel代②0111番 編集／企画課広報係

広報□□おしらせ□□□広報□□おしらせ□□□広報□□おしらせ□□□広報□□おしらせ□□□
□□広報□□おしらせ□□□広報□□おしらせ□□□広報□□おしらせ□□□広報□□おしらせ□□□
□□□